

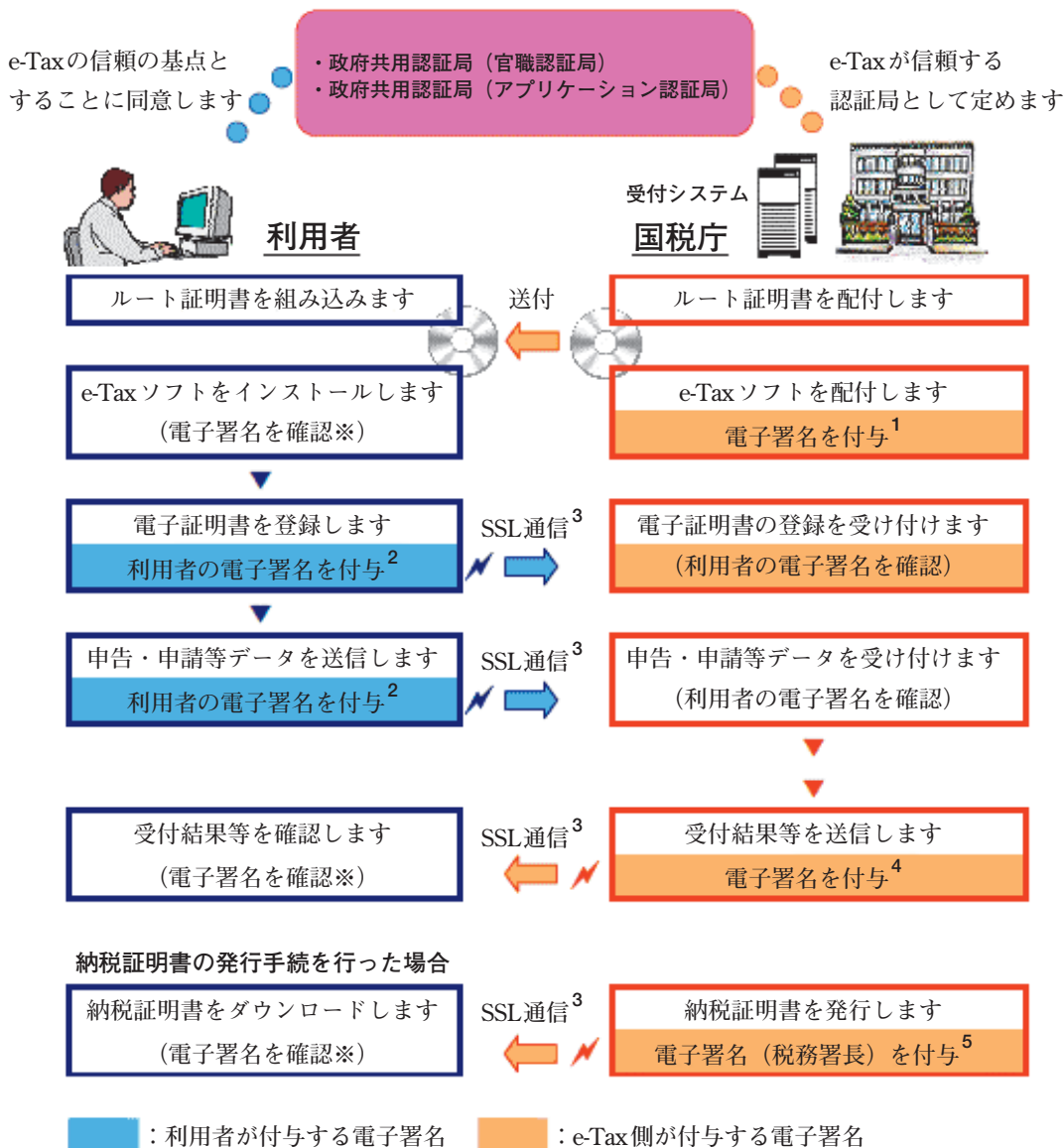
e-Tax 推進委員会情報

※ e-Taxのセキュリティ ※

国税電子申告・納税システム（e-Tax）を使用することをためらう人の中に、「セキュリティ面は大丈夫なのか」との声も多く聞かれます。

e-Taxを利用するにあたっては、利用者が安心して申告等の手続を行えるよう、個人情報などのセキュリティの確保には万全を期しています。

e-Taxのセキュリティを図に示すと下記のとおりとなります。



※ 失効確認を行う必要があります

利用者は、国税庁が上図の認証局をe-Taxが信頼する認証局と定めることに同意した上で、e-Taxを利用することになります。

図中に示したセキュリティ確保のためのしくみを、以下で簡単に説明します。

- 1 配付されたプログラムは改変されたものではなく、正しい作成者が作成したものであることを保証します。
- 2 利用者本人が作成し、データの改ざんがないことを証明します。
- 3 データを暗号化することで、安全を確保し盗聴等を防ぎます。
- 4 受付システムが送信したものであり、データの改ざんがないことを証明します。
- 5 税務署長等が署名したものであり、データの改ざんがないことを証明します。

このように、e-Taxでは、「ルート証明書」、「SSL通信」、各種「電子署名の付与」によって、セキュリティを確保しています。

詳しくは、e-Taxホームページをご確認ください。(www.e-tax.nta.go.jp/)